



## 知多総合庁舎

半田市出口町1丁目36番地

### ヒノキが迎える、知多のくらしの新しい拠点

半田の「蔵」をイメージした常滑焼のタイル張りが印象的な新・知多総合庁舎。県産ヒノキを玄関庇（ひさし）、天井ルーバー、カウンターなどにふんだんに使い、温もりと落ち着きのある空間を創出している。

庁舎内には、株式会社マルタケの寄附によるヒノキ製のテーブルやベンチ、書架といった家具・什器が随所に配置され、来庁者は天然木の質感や香りを通じて、木の魅力に触れることができる。

また、執務室の案内表示には知多木綿を使用し、外構には半田市の市木であるクロマツを植栽するなど、知多の風土や文化を感じさせる工夫が施されている。

構造／RC造4階建て  
延床面積／5,265㎡  
竣工／2026年1月  
木材使用量／24.99㎡

施主／愛知県

設計／株式会社久米設計中部支社

施工／鈴中工業・七番組特定建設工事共同

企業体、株式会社エフテック、丸水設備

株式会社、株式会社富士総合設備事務所、

フジテック株式会社名古屋支店、シー

キューブ株式会社

